

# 令和6年度 学校評価アンケート（分析）

千葉市立緑が丘中学校

本校では、前期（7月）と後期（12月）の年2回、生徒・保護者・教員対象に「学校評価アンケート」を実施しています。4段階（4：あてはまる、3：ややあてはまる、2：あまりあてはまらない、1：まったくあてはまらない）の評価としていますが、「1」の評価があまりないため、「4」と「2」の割合に注目して分析しました。また、前年度と比較して、肯定的な割合（「4」＋「3」）が4ポイント以上上がった項目と下がった項目にも注目して分析しました。

## 1 生徒アンケート（昨年度との比較）から

### （1）「4」（あてはまる）と「2」（あまりあてはまらない）の割合から

- ・「4」（あてはまる）の割合に注目すると、多くの項目で数値が下がっているものの、「私は部活動に自主的に取り組むとともに、部活動の友達とお互いを高め合いながら活動できている」（59.5%）、「私は安心して安全に楽しく学校生活を送っている」（55.3%）、「私は学校行事や生徒会活動、係活動によく取り組んでいる」（54.3%）、「私は清掃活動にきちんと取り組み、学習しやすい落ち着いた環境づくりを心がけている」（53.0%）などの数値が高く、昨年度と同様の傾向が見られる。「4」の回答率の変化に着目すると、「私は振り返り活動や発表などの表現活動を通して、自分の考えをわかりやすく伝えることができている」は32.5ポイント、「私はキャリア教育（進路学習）を通して、生き方、職業、進学に関心を持ち、将来について考えて学習や生活に取り組むように心がけている」は11.9ポイント、「私は授業がわかりやすく行われていると思う」は11.1ポイント下がっている。
- ・「2」（あまりあてはまらない）の割合に注目すると、上位の3項目は「私は振り返り活動や発表活動などの表現活動を通して、自分の考えをわかりやすく伝えることができている」（24.4%）、「私は学校だよりなどの学校からの手紙を持ち帰って、保護者にきちんと見せている」（21.3%）、「私はキャリア教育（進路学習）を通して、生き方、職業、進学に関心を持ち、将来について考えて学習や生活に取り組むように心がけている」（17.9%）であり、昨年度と変化はなかった。

### （2）肯定的な回答（「4」＋「3」）の割合から

- ・昨年度と比較すると、肯定的な割合（4＋3の割合）は全体的に下がっているが、中でも4ポイント以上下がった項目は、「私は家庭学習を行っている」（－6ポイント）、「私は振り返り活動や発表活動などの表現活動を通して、自分の考えをわかりやすく伝えることができている」（－4ポイント）、「私はキャリア教育（進路学習）を通して、生き方、職業、進学に関心を持ち、将来について考えて学習や生活に取り組むように心がけている」（－4ポイント）の3項目だった。

「生徒アンケート」からは、全体的に前期の評価は高かったものの、後期は低くなったため、昨年度と比較すると、やや低い評価となったが、安心して安全に楽しく学校生活を送り、部活動に自主的に互いを高め合いながら取り組み、学校行事や生徒会活動、係活動、清掃活動によく取り組んでいる生徒が過半数を超えていることがわかった。その一方で、研究として取り組んでいる表現活動（相手にわかりやすく伝えること等）や学習への取組、キャリア教育の推進が課題となっていることから、今後も継続して教育活動全体を通して取り組む必要がある。

## 2 保護者アンケート（昨年度との比較）から

### （1）「4」（あてはまる）と「2」（あまりあてはまらない）の割合から

- ・「4」（あてはまる）の割合に注目すると、大きな変化は見られないが、「学校は学校だよりや学年だより、すぐーるやHP等で学校の様子や情報をわかりやすく発信していると思う」（47.4%）、「お子様は家庭学習を行っている」（44.9%）、「学校（学級）はお子様を安心して安全に学校生活を送れるよう努力できていると思う」（43.5%）の数値が高く、昨年度と同様の傾向が見られる。「4」の回答率の変化に着目すると、「学校（学級）は適切な進路指導（生き方、職業、進学）を行い、よりよく生きようとする生徒を育てようとしていると思う」は4.6ポイント上がっているが、「校舎内外がきれいに清掃され、学習にふさわしい落ち着いた学習環境になっている」は7.9ポイント下がっている。
- ・「2」（あまりあてはまらない）の割合に注目すると、上位の3項目は「お子様は自分の考えをわかりやすく伝えることができている」（26.8%）、「お子様は自ら進んで学習に取り組んでいる」（24.3%）、「学校は部活動の充実に取り組んでいると思う」（17.1%）であり、昨年度と変化はなかった。

### （2）肯定的な回答（「4」＋「3」）の割合から

- ・昨年度と比較すると、全体的に大きな変化は見られないが、肯定的な割合（4＋3の割合）が4ポイント以上数値が上がった項目はなく、逆に下がった項目は、「学校はわかりやすい授業を行っていると思う」（－4ポイント）、「校舎内外がきれいに清掃され、学習にふさわしい落ち着いた学習環境になっている」（－4ポイント）の2項目だった。

「保護者アンケート」からは、前期と後期の評価はほぼ変化がなく、昨年度と比較しても大きな変化は見られなかったが、生徒が安心して安全に楽しく学校生活を送っていて、学校の情報がわかりやすく発信されていることは、昨年度に引き続き評価されている。しかしながら、本校が取り組んでいる「わかる授業」の推進、自ら進んで学習に取り組むこと、表現活動（相手にわかりやすく伝えること等）が課題となっていることから、今後も継続して教育活動全体を通して取り組む必要がある。

## 3 職員アンケートから

### （1）「4」（あてはまる）と「1」（まったくあてはまらない）の割合が高い項目

#### ①「4」の割合が高い項目

- ・いじめは決して許されない行為であるという認識をもって、いじめの未然防止や早期発見、解決にあたっている。（86.4%）
- ・生徒の学校生活が充実して満足するよう指導している」（59.1%）
- ・生徒が学校行事や生徒会活動、係活動によく取り組むように努めている。（59.1%）
- ・生徒が学校行事や生徒会活動、係活動によく取り組んでいると思う。（54.5%）
- ・生徒は身だしなみ、挨拶、時間やルールを心がけ、規律を守った学校生活を送れるように努めている。（54.5%）

#### ②「2」の割合が高い項目

- ・生徒は清掃にきちんと取り組み、学習しやすい落ち着いた環境づくりを心がけていると思う。（45.5%）
- ・生徒は自他の心を大切にし、思いやりのある行動や言葉がけを心がけていると思う。（27.3%）
- ・生徒は振り返り活動や表現活動を通して、自分の考えを理由や根拠に基づいてわかりやすく伝えることができている。（22.7%）

- ・あなた自身は、生徒の家庭学習の習慣化に努めている。(22.7%)
- ・あなた自身は、保護者の信頼の確立に向けて積極的に情報発信をしている。(22.7%)

## (2) 昨年度の平均値との比較から

- ・質問項目は全部で36項目あるが、15項目が上昇、9項目が変化なし、12項目が下降しており、全体としてはあまり大きな変化は見られなかった。細かく見ると、0.2ポイント以上上がった項目は、「あなた自身は、保護者の信頼の確立に向けて積極的に情報発信をしている」(+0.3ポイント)、「生徒の学校生活が充実して満足するよう指導している」(+0.2ポイント)、「生徒は学校日よりなど、学校からの手紙を持ち帰って、保護者にきちんと見せている」(+0.2ポイント)、「学校経営の基本方針を理解し、積極的な経営参画意識をもち、生徒を中心に置いた学校づくりに努めている」(+0.2ポイント)、「教育センター、市教研等の研修会に積極的に参加して、専門性の確立と指導力の向上に努めている」(+0.2ポイント)の5項目だった。一方で、0.2ポイント以上下がった項目は、「生徒は清掃にきちんと取り組み、学習しやすい落ち着いた環境づくりを心がけていると思う。」(-0.4ポイント)、「生徒は安心して安全に楽しく学校生活を送っていると思う」(-0.2ポイント)、「生徒はバランスよくきちんと食事をとることや病気の予防、安全、事故防止に心がけていると思う」(-0.2ポイント)の3項目だった。

「職員アンケート」からは、全体的に前期の評価は低かったものの、後期は高くなったため、昨年度と比較しても大きな変化は見られなかった。昨年度と同様にいじめに対する意識が非常に高いことや、生徒の学校生活が充実して満足ができるよう、生徒が学校行事や生徒会活動、係活動に積極的に取り組めるよう努めていることがわかる。昨年度と比較すると、生徒を中心に置いた学校づくりや自身の研修に努めている職員が増えている。しかしながら、清掃や落ち着いた環境づくりや思いやりのある言動、家庭学習の取組の評価が低いことから、今後も継続して教育活動全体を通して取り組む必要がある。

これを受けて、令和7年度は以下のことに重点を置いて学校経営に取り組む。

- 学習指導においては、研究主題を継続し、「わかる授業」の推進のために、基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るとともに、思考力・判断力・表現力を高める指導方法や評価の在り方を工夫する。
- 「毎日マイ学習ノート」、テスト計画表、宿題の取組を通して、家庭学習の習慣化と内容の充実を図る。
- 「おみそあじ」(思いやり、身だしなみ、掃除、挨拶、授業を大切にすること・時間を守る)を生徒指導の基本とし、教育活動全体を通して全校体制で指導に当たる。
- キャリア教育においては、自分のよさに気づき、自分の生き方を考えられるよう「キャリア教育ブランドデザイン」に基づき、各学年の重点目標を明確にして、教科横断的に指導にあたる。